



OYSTER CASE

SYMBOL OF WATERPROOFNESS AND ROBUSTNESS

オイスターケースはロレックスが名声を得ている決定的要素のひとつです。

この端正でエレガントな腕時計ケースは堅牢性と防水性の象徴であり機能性とデザイン性を見事に融合させています。オイスターケースにはオイスターsteel、18 ct ゴールドまたは950プラチナ製があります。



OYSTER CASE

A WORLD FIRST

オイスターケースの誕生は現代の腕時計製造史において大きなターニングポイントとなりました。ロレックスが 1926 年に発明したオイスターは、ベゼル、リューズと裏蓋がミドルケースにねじ込まれた特許取得のシステムを備えた世界初の腕時計用防水ケースでした。1927 年、ロレックスは英国人女性のメルセデス・グライツがドーバー海峡を泳いで横断する際にロレックス オイスターを着用してもらい、このケースの性能をテストしました。10 時間以上も水中にあったにもかかわらず、時計は完璧に動いており、オイスターケースの優れた防水性能が証明されました。

HERMETICALLY CONSTRUCTED

ケースの密閉構造（堅牢なミドルケース、スクリュー式のリューズと裏蓋、摩擦によって固定されたクリスタルとベゼル）によって、今日では、オイスター コレクションのすべてのロレックスウォッチは最低でも水深 100 m（330 フィート）、ダイバーズウォッチのサブマリーナーとサブマリーナー デイトでは 300 m（1,000 フィート）、シードウエラーでは 1,220 m（4,000 フィート）、ロレックス ディープシーでは最大 3,900 m（12,800 フィート）までの防水性能が保証されています。

A SOLID MIDDLE CASE

オイスターのミドルケース（ケースの中央部分）はオイスタースチール、18 ct ゴールドまたは 950 プラチナの塊から製造されています。極めて堅牢なこのミドルケースは、ケースの他の部品すべてをしっかりと固定する支柱の役割を果たしています。多くのプロフェッショナルモデルではミドルケースと一体となったリューズガードが装備されています。サファイアクリスタルはガスケットに取り付けられた後、ケースのフランジに装着され、ベゼルまたはシーリングリングにより密閉されます。

SCREW-DOWN CASE BACK WITH ROLEX FLUTING

オイスターケースの裏蓋はミドルケースにしっかりとねじ込まれています。ロレックスの裏蓋の特徴である細かいフルーティング（刻み）は 1926 年に誕生したオイスター以来のもので、ムーブメントに触れられる、ロレックスのウォッチメーカーだけが特別な専用工具で裏蓋を取り付けることができます。



OYSTER CASE

TWINLOCK AND TRIPLOCK WINDING CROWNS

ロレックスが 1953 年に特許を取得したトゥインロックリユーズは、二重密閉構造です。1970 年に発表されたトリブロックリユーズでは密閉箇所が 1 つ増えています。これは、ダイバーズウォッチのサブマリーナー、サブマリーナー デイト、シードゥエラー、ロレックス ディープシーの防水性能を高めるために開発されました。トゥインロックリユーズとトリブロックリユーズを構成する約 10 個の部品は、リユーズにはオイスタースチール、18 ct ゴールドまたは 950 プラチナ、ガasketにはポリマーといったように、材質の特性に応じて選択された素材でつくられます。

組み立てられた後、これらのリユーズは、オイスターケースにしっかりとねじ込まれ、潜水艦のハッチのような高い防水性能を保証します。

STRINGENT WATERPROOFNESS TESTING

すべてのオイスターケースはロレックスの自社内で製造されます。最終品質検査の後、すべてのオイスターウォッチが水中に沈められ、防水性能が保証されている水深の水圧より 10% 高い水圧（ダイバーズウォッチの場合には現在の基準に合わせて 25% 高い水圧）をかけて検査されます。

オイスターコレクションのデイデイト、スカイドゥエラー、デイトジャスト、オイスター パーペチュアル、パールマスターのすべてのクラシックウォッチと、エクスプローラー、エクスプローラー II、ミルガウス、エアキングのプロフェッショナルウォッチには、オイスターケースとトゥインロックリユーズが装備されています。

コスモグラフ デイトナ、GMT マスター II、ヨットマスターのプロフェッショナルウォッチおよびロレックスのダイバーズウォッチには、オイスターケースとトリブロックリユーズが搭載されています。